

日本の動き	加賀藩の動き	全国の文化	加賀の文人・俳人	千代尼年譜
	1645 正保1 五代綱紀相続	1571 元龜2 貞徳生 1644 正保1 芭蕉生 1689 元禄2 奥の細道 1691 " 4 猿蓑 1693 " 6 西鶴没 1694 " 7 芭蕉没 1698 " 11 捨女没	1689 元禄2 北枝の山中問答 1694 " 7 北枝俳諧八ヶ条問答	
1702 元禄15 赤穂浪士討ち入り 1707 宝永6 白石登用 1716 享保1 吉宗襲封 享保の改革	1722 享保7 能登の天領を 加賀藩の預所とす 1723 享保8 六代吉宗相続	1704 宝永1 文章、去来没 1706 " 3 智月尼没 1707 " 4 其角、嵐雪没 1715 正徳5 国性爺合戦 1716 享保1 光琳没 1724 " 9 近松没 1725 " 10 秋色女没	1718 享保3 立花北枝没 (5月12日)	1703 元禄16 生まれる 1719 享保1 各務支考訪れ その才を認める(17歳) 1725 " 10 上洛し、乙由に逢う 1727 享保12 芦元坊、万華坊来訪
	この頃から 藩の財政窮迫する 1745 延享2 七代宗辰相続 1746 " 3 大槻伝蔵失脚 1747 " 4 八代重熙相続	1726 享保11 園女没 1731 " 16 支考没 1737 元文2 井上通女没 1743 寛保3 乾山没 1748 延享5 仮名手本忠臣蔵	1750 寛延3 小寺希因没51歳 (7月11日)	
1759 宝暦9 宝暦事件 1772 安永1 田沼意次老中となる	1753 宝暦3 九代重靖相続 1754 " 4 十代重教相続 1755 " 5 加賀藩銀札発行 1756 " 6 加賀藩で借地を始める 1771 明和8 十一代治脩相続 1773 安永2 銭五生まれる	1763 宝暦13 一茶生 1768 明和5 雨月物語	1765 明和2 珈涼没 1766 " 3 希因の暮柳集成る 1770 " 7 麦水の俳諧蒙求成る 1771 " 8 麦水長崎に遊ぶ 1772 安永1 麦水の山中夜話 1775 " 4 大睡没	1754 宝暦4 剃髪 法名素圓と称す 52歳 1764 " 14 「千代尼句集」刊行 1771 明和8 「俳諧松の声」刊行 1774 安永3 蕪村「玉藻集」の序を草す 1775 " 4 千代尼没 73歳 (九月八日)
1779 安永8 ロシア船北日本へ来る 1783 天明3 大飢饉 1787 " 7 定信老中となり 寛政の改革 1790 寛政2 異学の禁	1777 安永6 栗崎打ち壊し	1776 安永5 大雅没 1783 天明3 蕪村没 1790 寛政2 柄井川柳没	1777 安永6 麦水の新虚栗集 1780 " 9 岸駒上洛 1783 天明3 麦水没 66歳 1787 " 7 すへ女没 1791 寛政3 麦水追悼句集(落葉搔) 中村歌右衛門没 1793 " 5 新井白雅没	1799 寛政11 25回忌千代尼塚建立
	1802 享和2 十二代斉広相続		1803 享和3 二柳没 81歳 1823 文政6 吉田屋窯始まる	1807 文化4 33回忌追悼句集 「無射集」刊行 1811 " 8 37回忌念西院句碑建立 1824 文政7 50回忌「後無射集」
		1827 文政10 一茶没 1831 天保2 良寛没	1832 天保3 北枝発句集	1849 嘉永2 増補加賀千代尼句集 発刊(大夢編) 1859 安政6 掌中千代尼発句集発刊 (児遊編)